

2021 年度
事業報告

自 2021 年 4 月 1 日
至 2022 年 3 月 31 日

公益財団法人
中山隼雄科学技術文化財団

事業報告

2021年4月1日から
2022年3月31日まで

I 当法人の現況に関する事項

1 事業の経過及びその成果

当法人は、「人間と遊び」という視点に立った科学技術の振興に関する事業を行い、ゆとりと活力のある社会の構築に貢献することを定款に定める目的としております。

具体的には、この公益目的に適う調査・研究・開発の推進及びこれらの助成、国際交流の助成並びに普及啓発の分野の公益事業であります。2022年3月期(以下「2021年度」といいます。)は、昨年引き続き新型コロナウイルスの蔓延が世界中を襲い続けましたが、研究発表会のWEB開催など極力通常の事業に取り組めるよう努力を致しました。

この結果、費用面につきましては、55,519千円(前年度比18.6%増)、うち公益目的事業費は47,158千円(前年度比19.8%増)、法人管理費は8,361千円(前年度比12.2%増)となりました。

一方、収益面につきましては、基本財産の株式配当が復配となり9,500千円増となり、事業安定基金及び資産活用基金につきましても、金融環境は低迷致しましたが、安全性を最優先に運用に努めた結果前年水準を維持して、経常収益は57,074千円(前年度比4.1%増)となりました。

これらにより、経常収益は経常費用を1,555千円上回りました。

当年度経常増減額は、上記の減額1,555千円に、保有株式等基本財産の評価益382,810千円及び特定資産の評価益72,143千円を合算して456,509千円の増額となりました。

これらの結果、正味財産期末残高は、3,537,090千円(前年比14.8%増)となりました。

主要事業別の経過及びその成果は、次のとおりであります。

【調査研究事業】

調査研究事業は、定款第4条第1項第1号の目的である財団自らが能動的に解決又は実現を図るべきと思料する、「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する調査、研究及び開発の推進に関する事業であります。

① 2020年度からの継続事業

※選択課題①プログラミング的思考力育成ゲーム

所属 肩書	個人 共同	選択研究課題 応募研究課題	期間 (年)	研究費 (千円)
齋藤 大輔 早稲田大学 基幹理工学部 講師(任期付)	個人	課題① 遊びながら自律的にプログラミング的思考を育成可能なゲームの提案および学習効果の評価	2	3,000(2020) 2,180(2021)

② 2021年度の新規事業

調査研究の課題設定は、2014年度より一般公募により優れた研究テーマを発掘し、これを研究課題として研究者を募集することとしてまいりました。

この方針に基づき、本年度一般公募は第8回「社会を変える『夢のゲーム』アイデア」として実施し、390件の応募作品中 最優秀作品1件、優秀賞10件(ジュニア賞10件)を表彰しました。

本年度の調査研究課題は、企画委員長の発案により、過去3年(第6回～第8回)のジュニア賞を含めた「夢のゲーム研究アイデア」の受賞テーマから研究を募集するという新しい試みで設定し、その結果、1組が採択されました。

氏名・所属・肩書	『夢のゲーム』入賞作品から 選択したテーマ	研究期間 金額
小嶋秀幹 福岡県立大学人間社会学部 教授	色んな人の気持ち -somebody's feelings	1年 100万円

【研究助成事業】

研究助成事業は、当法人の中核となる事業であり、助成目的別に次のように分類されます。

・助成研究

定款第4条第1項第2号の目的である「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する調査、研究及び開発に対する助成。

(助成研究A-1、A-2、Bに分類されます。)

・国際交流

定款第4条第1項第3号の目的である学会・研究会活動及び国際交流に対する助成。

(1) 助成研究 A ゲームの分野の研究に対する助成

① 2020年度からの継続事業

該当なし

② 2021年度 新規事業

重点研究と基礎的・基盤的研究に分類して助成することとし、8月に当法人のウェブサイトに募集案内を掲載すると共に、全国の大学、高専、国公立研究機関等の関連組織に募集案内を送付する外、関連学会に依頼して当該学会のウェブサイトにも掲載するなどして幅広く募集を広報しました。

(A-1) 重点研究「誰一人取り残さないためのゲーム」

助成研究A-1に関しては「骨太でゲームの根本に迫る課題」に重点化することを大枠の方針として助成してまいりました。

2021年度は、引き続きこの方針を継承し、研究テーマを細分化することなく、「誰一人取り残さないためのゲーム」というSDGsを反映させた研究課題を設定し、助成研究の応募者の自由性を保証して良い研究テーマを引き出すことを目指しました。

その結果15組中5組に対して助成することとなりました。

受付 番号	氏名 所属 肩書	研究課題	助成額 (希望額) (千円)
16	河野 洋一 帯広畜産大学畜産学部 助教	農業者育成に適応可能な現実再現性の高い農業経営ゲームの開発	2,500 (3,000)
29	岡嶋 一郎 西九州大学子ども学部 教授	自閉スペクトラム症児・者の“行事写真パズル”に対する反応の調査	900 (910)
30	齋藤 長行 東京国際工科専門職大学 教授	子どものゲーム利用環境整備を促進させる政策メカニズムの解明	1,000 (1,670)
47	松本 多恵 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 准教授	視覚障がい児のための補助ゲーム支援ロボットの開発	1,700 (2,970)
62	中島 徹 東京大学大学院農学生命 科学研究科 助教	大規模計算機資源と生態系ビッグデータを活用した自然観察ゲームプラットフォームの実証と効果検証	2,500 (3,000)
合 計			8,600 (11,550)

(A-2) 基礎的・基盤的研究

研究テーマは、「ゲームの本質に関する研究」、「ゲームと人間に関する研究」、「ゲームと社会に関する研究」及び「ゲームと技術に関する研究」と例年と同様に幅広く設定して助成することとしました。

助成研究(A-1)と同様の審査手続きを経て、27組を本審査した結果、次の6組に対して助成することとなりました。

受付 番号	氏名 所属 肩書	研究課題	助成額 (希望額) (千円)
6	照井 敬生 同志社大学創造経済研 究センター 嘱託研究員	コロナ危機下におけるビデオゲ ーム制作者へのクラウドファン ディング支援の研究	500 (670)
17	本間 優子 新潟青陵大学福祉心理 学部 准教授	大人と子供が共に楽しめる役割 取得能力トレーニングアプリの 開発	1,500 (2,430)
31	大山 剛史 岡山県立大学 情報工 学部 助教	ゲームの達人の技に迫る脳の 研究	2,500 (2,867)
48	福井 昌則 徳島大学 高等教育研 究センター 准教授	ゲームがもたらす幸福感と不幸 感に関する構造的把握	1,000 (1,652)
50	松野 省吾 群馬大学情報学部 助教	表情による駆け引きを実現する アバター間コミュニケーション技 術の構築	1,800 (2,444)
60	佐賀 亮介 大阪府立大学人間社会 システム科学研究科 准教授	レビューおよびチャットを用いた ゲームの楽しさに及ぼす影響分 析	1,000 (2,676)
合 計			8,300 (12,739)

(2) 助成研究 B 「人間と遊び」に関する研究に対する助成

研究テーマは、「遊びの本質及び影響に関する研究」、「遊びの社会的諸活動への応用に関する研究」及び「助成研究 A 又は B のいずれの課題にも属さない『人間と遊び』の研究」とし、事実上人間と遊びをテーマにした研究であればどのような専門分野からでも応募できるように配慮しま

した。

助成研究 A と同様の審査手続きを経て 12 組を本審査した結果、次の 7 に対して助成することとなりました。

助成研究 B の研究期間は、単年度のみであります。

受付 番号	氏名 所属・肩書	研究課題	助成額 (希望額) (千円)
5	紺谷 遼太郎 長崎短期大学保育学科 助教	幼児教育における「遊び」の 変遷:幼稚園教育要領の内 容分析から	400 (400)
20	小木曾 航平 広島大学大学院人間社会科 学研究科 准教授	伝承遊戯の変容と遊び空間 の創造に関する人類学的研 究	800 (953)
21	井上明人 立命館大学 映像学部 講師	ゲームプレイによる空間認知 能力の変容について実証研 究	110 (117)
27	井上邦子 奈良教育大学教育学部 准教授	虫捕り遊び文化の研究;掌の 中の「自然」との向き合い方 に着目して	900 (900)
41	古田このみ 愛知教育大学大学院教育学 研究科・静岡大学大学院教 育学研究科共同教科開発学 専攻 博士後期課程院生	動きを創造するオートマタ(か らくりおもちゃ)教材の開発と 実践による検証	900 (908)
52	尾鼻崇 大阪国際工科専門職大学工 科学部 准教授	ゲームオーディオの固有性 に対応した保存手法確立の ためのメタデータ設計とデー タベース構築	650 (651)
53	阿部 衛 東京女子大学現代教養学部 非常勤講師	古代ローマ時代における人と スポーツに関する研究	690 (690)
合 計			4,450 (4,619)

(3) 国際交流(参加)の助成

本年度は助成を中止しました。

【普及啓発事業】

普及啓発事業は、定款第4条第1項第4号の目的に関する事業であり、当法人が自ら主体的に行う「調査研究」及び当法人が助成して研究者が行う「助成研究」の成果を、広く一般に公開しその普及を促進する事業であります。

① IGDA 日本との協働による事業

本件は、当法人より働きかけて種々交渉の結果、2016年度から順調に実績を重ねています。2021年度は、ワークショップを7月11日に情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ（香川県高松市）にて実施し、それに対し支援を行いました。

② 人間と遊び(財団レポート2019・2020)の発行

昨年度コロナ禍の影響により発行ができませんでしたが、本年度「人間と遊び(財団レポート2019・2020)」として2年分をまとめ、10月に発行しました。

内容は、すべての調査研究と助成研究の成果を読みやすい概要書として収載したことの外、普及啓発活動の報告も新たに加えて、事業計画や事業活動のあらましを含む当法人の概要等の情報を親しみやすい読み物になっております。

③ ウェブサイトの高度情報化

年報「人間と遊び」に収載した研究成果の概要は当法人ウェブサイトでも公開し、一定の条件の下に誰でもがその成果を利用することをできる体制を構築しようと取り組んでいます。

調査研究や助成研究の、募集、応募、審査、通知、報告等をほぼ一貫してウェブ上で行うことにより、研究者と当法人のコミュニケーションツールとしても大きな役割を果たしており、事務能率の向上と迅速化に威力を発揮しております。

他方、当法人の活動をより広く・早く一般の皆様にも気軽に知っていただけるように、SNSによる情報発信を開始しており、徐々に成果が挙がっております。今後は更に興味深くお読みいただける内容とするなど、当法人の事業を社会一般に周知すべく努力してまいります。

【公益目的事業の直接経費の計画と実績】

以上の公益事業費の内、研究費を中心とした直接経費のみについて、予算と実績を比較すると次表の通りとなります。

単位:千円

事業別	予算額	実算額	達成率(%)	備考
調査研究事業	1,000	1,000	100.0	1,800~4,200
研究助成事業	20,000	21,737	108.7	9,240~21,560
A	15,000	16,900	112.7	9,000~21,000
B	4,650	4,450	95.7	2,790~6,510
普及啓発	350	387	110.6	210~490
合 計	21,000	22,737	108.3	

(注) 備考欄の数字は、基準予算額の上下40%の範囲を示します。

調査研究の応募テーマと助成研究の応募テーマの双方を比較考量したうえで、より優れたテーマを採択して研究委託若しくは研究助成するため、相互の予算を一部共通化し、個々の研究テーマ群ごとに基準値の上下最大40%の範囲で、弾力的な配分を行うこととしております。

2 資金調達等の状況

- ① 資金調達 : 当期の資金調達はありません。
- ② 設備投資 : 当期の重要な設備投資はありません。
- ③ 事業の譲渡等: 事業の譲渡等はありません。

3 直前3年度の財産及び損益の状況

単位:千円

区 分	第8期 2019年3月期	第9期 2020年3月期	第10期 2021年3月期	第11期 (当年度)
経常収益	78,448	72,201	54,833	57,074
評価損益等調整前 当期経常増減額	12,196	△3,410	8,013	1,555
当期経常増減額	△424,893	△154,540	536,268	456,509
正味財産期末残高	2,698,913	2,544,312	3,080,581	3,537,090

4 対処すべき課題

(1) 基本方針

当法人は、公益財団の基本思想に忠実であることを前提としつつ、「行動規範」に定める厳正な倫理に則り、公正かつ適切な事業活動を展開する、という基本方針を引き続き事業活動の中核に据えてまいります。

2021 年度は、全世界的なコロナウィルス感染症の影響に配慮し資金の運用を慎重にしつつも、基本財産株式の復配もあり可能な限り事業を展開できるよう努力し、安定的に事業を実施してまいりました。

① コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス・マネジメントの徹底

当法人の公益法人化は、比較的早期に実現したため、当初はガバナンス・システムが概して保守的に設計されておりましたが、定款を始めとする主要規定から順次必要な制改定を進めた結果ほぼ満足できる水準に達したと判断しております。

2021 度も、引き続き日常の事業活動に影響のある規定等について、法の許容する範囲で合理的な柔軟化を図ることを主眼にしつつ、小規模組織で運営する法人に相応しい意思決定システムを実現する一方、決定したルールは、規定の有無に限らず法の趣旨に照らして厳密に運用し、コンプライアンス・マネジメントを徹底させてまいりました。

② 事業活動の規模に関する戦略

当法人は、全ての事業活動の原資を金融財産の各年度の運用益に依存しております。このため、金融市場の変動によって過去には数年間にわたり事業資金が得られず、やむなく大幅に公益事業活動を圧縮し、なおかつ基本財産を取崩さざるを得ない事態に追い込まれる苦い体験をしました。このことは、毎年研究助成を待ち望んでおられる多くの研究者の期待を損ねるものでありました。この経験から事業活動の規模の原則を「予算規模を運用益の範囲とし、基本財産と基金の取り崩しは、やむを得ない例外的な場合を除き厳に慎む。」としておりますが、この方針は堅持します。

なお、当法人の従事比率は 80% 対 20% に据え置きます。

(2) 公益目的事業

当法人の主要な公益目的事業は、調査、研究、開発の推進及びこれらの助成並びに普及啓発の 3 分野であります。そのすべてが「人間と遊び」というユニークな視点に立った科学技術の振興に関する事業であるため、相互に有機的に関連付けられ、支え合って効果を増大させる必要があります。普及啓発の分野では、「遊びを通じて子供たちの成長を促す」という視点での取り組みを中期的な視点をもって地道に継続する必要があります。

3 分野の事業実施に当たっては、限りある資金を有効に生かすため、より有為な使用方法、時宜にかなった研究テーマの設定、公平な助成先の選定等について、ますます工夫が必要であります。

① 調査研究事業

現在わが国には、多くの解決すべき社会問題が存在しておりますが、社会的に重要かつ喫緊の課題であって、「ゲームを用いて、社会の問題を解決する。」ことが可能な研究課題を、研究者のみならず一般市民の知恵を借りながら深耕していくことを当面の基本方針としております。

2022 年度は、「夢のゲーム」研究アイデア公募も 9 回目を数えることになるので、入賞作品のアイデアを基に、当法人の事業活動の実態にも通暁した学識経験者 6 名からなる企画委員会が、さらに研究者の研究意欲を掻き立てるような課題を設定することとしております。

又、「夢のゲーム」の公募自体も回を重ねる毎に凶らずも広告塔としての効果が注目されるようになったため、この側面を積極的に評価して、相乗効果を図ることとしております。

② 助成研究事業

当法人の中核的事業であり、広く各層の研究者から助成を期待されているので、公平・公正な審査を通じて、適切な助成活動をすることが重要であります。そのため、外部学識経験者 10 名による「選考委員会」に実質的な決定権を委ね、その自律的な活動により、助成対象者を決定いたします。

助成研究のテーマ設定につきましても、基本的には、本年度の方針を踏襲し、分野別に次の基本方針で臨みますが、具体的な課題設定は、選考委員会の決定するところによります。

助成研究 A

骨太でゲームの根本に迫る課題に重点化し、研究テーマを細分化せず応募者の研究の自由性を保証します。

助成研究 B

「人間と遊び」をテーマにする広い分野の研究に、まんべんなく助成することによりユニークな研究を引き出します。

国際交流

2022 年度も中止と致します。

なお、限りある資金を生かすために、調査研究、助成研究の各事業に関しては、事業予算の基準値に上下 40%の範囲で上限値と下限値を設け、相対的により有為な研究に資金を提供できるよう、弾力的な配分を行います。

③ 普及啓発事業

コロナ禍においても可能な限り普及啓発事業を展開することを目指し WEB による研究発表会開催を実施し成果の公表を致しました。又年報も 2020 年度・2021 年度の合併号を発刊致しました。

広報の多様化による公益活動の周知とこれを通じて質量ともに充実した助成研究希望者を発掘、これらに伴い当法人に対する積極的な評価の獲得を目指すことは、普及啓発のために重要な事業であります。又、公益活動の展開の中で SR(Social Responsibility)活動にも引き続き目を向けていく必要があります。

(3) 法人管理事業

当法人の常勤者は 2 名のみでありますので、法人管理事業についても、優先順位を明確にしたうえで業務の合理化を徹底し、以下の課題に取り組んでまいります。

① 正確かつタイムリーな経理情報の作成と有効活用

2021 年度 から、会計ソフト・給与ソフトの本格導入を図り会計システムの合理化・自動化に注力致しました。これにより適時に業務執行理事に提供が可能となり、より信頼性の高い管理会計を推進してまいります。

② 普及啓発事業を3本目のゆるぎない柱とするための施策

普及啓発事業は、制度会計的には助成事業に分類されることが多いのでありますが、法人管理事業が新規取組の突破口になるケースも少なからずあります。

従って、法人管理事業の傍ら常に普及啓発事業との有機的関連性に注意し、費用を最小限に抑えながら、効果の高い施策を訴求する必要があります。

(4) 資金運用

当法人は、事業活動資金の全額を事実上財団の基本財産、特定資産(事業安定基金、資産活用基金)及びその他金融財産の運用利益に依存しております。

又、公益財団には、寄付金の獲得が推奨されているのでありますが、当法人は事業目的との関係もあって、広く一般に寄付者を見出すことは困難です。これらの実情に鑑み、当法人は基本財産、両基金及びその他財産の特性に応じた運用基準により、安全性に極力配慮しつつ、資金別に運用利回りの目標を具体的に定めて、可能な限り高い運用益を目指すこととしてまいりました。しかしながら昨今の金融情勢は変化が激しく、担当者の判断だけでの資金運用は困難であることから他の公益法人のように資金運用のプロの助言が必要な状況にあり資金運用コンサルタントを選任し導入することを検討しています。これにより一定の資産を助言によるポートフォリオ運用に移行させ極力安定的な収益を得ることを目指し体制を整えていく予定です。

5 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
調査研究事業	「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する調査、研究及び開発の推進
研究助成事業	「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する調査、研究及び開発に対する次の助成 助成研究 A: ゲームの分野の研究 助成研究 B: 「人間と遊び」一般に関する研究 国際交流 : ゲームに関する国際会議の開催又は参加
普及啓発事業	「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する普及啓発

6 主たる事務所の状況

名称	公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団
所在地	東京都中央区銀座三丁目 15 番 8 号 銀座プラザビル 3 階

7 主要な借入先及び借入額

該当事項はありません。

8 重要な契約に関する事項

契約名	相手方	契約の概要
賃貸借	(株)アミューズ ズキャピタル	目的:財団事務所の賃借 金額:現行月額賃料:231 千円(保証金:2,400 千円) 期間:2021 年 4 月 1 日~2023 年 3 月 31 日 以降自動延長中
調査研究 委託	早稲田大学 基幹理学部 講師 (任期付)	目的:遊びながら自律的にプログラミング的思考を育成可能なゲームの提案及び学習効果の評価 金額:3,000 千円 期間:2020 年 4 月 1 日~2021 年 3 月 31 日 (2021 年度継続研究のため終了は 2022 年 3 月 31 日 2021 年度金額 2,180 千円)

9 会員に関する事項

該当事項はありません。

10 職員に関する事項

役職名	氏名	就任年月日	担当事務
事務局長	高倉 潔	2021 年 6 月 18 日	事業全般の統括
職員	池田 美帆	2021 年 7 月 1 日	経理他一般事務

11 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催期日	議案の内容	審議結果
第 39 回 6/4 オンライン 開催	【決議事項】 ①2020 年度事業報告の承認 ②2020 年度計算書類(案)の決定 ③理事候補者 2 名の決定 ④評議委員補者 1 名の決定 ⑤企画委員 6 名決定 ⑥第 10 回定時評議員会の招集 【協議事項】 なし 【報告事項】 ①業務執行理事の職務執行状況 ②第 8 回「夢のゲーム」研究アイデア入賞者について	全部可決 全部了承
第 40 回 6/18 書面開催	【決議事項】 ①常務理事 2 名選定	全部可決
第 41 回 7/30 書面開催	【決議事項】 ①2021 年度修正事業計画承認	全部可決
第 42 回 1/14 オンライン 開催	【決議事項】 ①2022 年度 調査研究者決定の件 ②2021 年度 研究助成者決定の件 【協議事項】 ①2022 暦年度 理事会の開催予定等について 全て合意された。 【報告事項】 ①業務執行理事の職務執行状況 ②2021 年度年間運用益の動向 全て了承された。	全部可決 全部合意 全部了承
第 43 回 3/11 オンライン	【決議事項】 ①2022 年度 事業計画及び収支予算書等決定の件 【協議事項】	全部可決

<p>第 38 回 2/25 オンライン 開催</p>	<p>【決議事項】 ①第 9 回「夢のゲーム」研究アイデア公募の件 ②30 周年記念事業実施の件</p> <p>【協議事項】 ①2022 年度 調査研究事業計画 ②2021 暦年の活動スケジュール及び 次回企画委員会 全て合意された</p> <p>【報告事項】 ①2022 年度調査研究及び 2021 年度助成研究の採択者決定</p>	<p>全部可決</p> <p>全部合意</p> <p>全部了承</p>
<p>第 39 回 5/27 オンライン 開催</p>	<p>【協議事項】 1. 2023 年度 調査研究課題の件</p> <p>【報告事項】 1. 第9回夢のゲーム研究アイデア大募集について</p>	<p>全部合意</p> <p>全部了承</p>

(4) 選考委員会

開催期日 出席者数	議案の内容	審議結果
<p>第 31 回 7/15 オンライン開 催</p>	<p>【決議事項】 ①2021 年度 助成研究課題決定の件</p> <p>【協議事項】 ①2021 年度 助成研究課題募集要領について ⇒決議事項で決定した助成研究課題を包括し、作成することとした ②今後のスケジュール</p> <p>【報告事項】 ①事業計画及び収支予算 ②夢のゲーム研究アイデア入賞者について</p>	<p>全部可決</p> <p>全部合意</p> <p>全部了承</p>
<p>第 32 回 12/10 オンライン開 催</p>	<p>【決議事項】 ①2022 年度調査研究者決定及び答申 ①2021 年度助成研究採択者の決定及び答申 ②2021 年度助成研究の研究費決定及び答申</p> <p>【協議事項】 ①2022 暦年の活動スケジュール及び次回選考委員会の日時</p>	<p>全部可決</p> <p>全部合意</p>

	【報告事項】 ①2021 年度中間決算の概要及び年間収益見込について ② 研究助成中の研究者 2 名に関する計画変更	全部了承
第 33 回 5/6 オンライン開催	【決議事項】 ①2022 年度 助成研究課題決定の件 【協議事項】 ①2022 年度 助成研究募集要領について ②今後のスケジュール 【報告事項】 ①2021 年度 事業計画及び収支予算について ②30 周年記念研究助成について ③研究助成中の研究者に関する計画変更について	全部可決 全部合意 全部了承

12 許可、認可、承認等に関する事項

該当事項はありません。

13 保有株式の概要

発行会社名	保有株式数 (株)	保有比率 (%)	資産区分
セガサミーホールディングス(株)	普通株式 950,000	0.357	基本財産
(株)IHI	普通株式 18,000	0.0116	事業安定基金
(株)三菱 UFJ フィナンシャル G	普通株式 109,600	0.000825	同上

II 役員等に関する事項

1 理事

(2022年3月31日現在)

地位	氏名	任期	重要な兼職の状況
代表理事 理事長	中山 晴喜	2022年6月	(株)アミューズキャピタルインベストメント 代表取締役
常務理事	藤森 健也	同上	(株)アミューズキャピタル 取締役副社長
常務理事 事務局長	高倉 潔	同上	(株)アミューズキャピタル 取締役
理事	稲増 龍夫	同上	法政大学 社会学部教授
理事	大熊 健司	同上	—
理事	中塚 尚子	同上	立教大学 現代心理学部教授
理事	坂元 章	同上	お茶の水女子大学 理事・副学長
理事	出口 弘	同上	千葉商科大学大学院 商経学部 教授
理事	渡邊 一衛	同上	成蹊大学 名誉教授

2 監事

(2022年3月31日現在)

地位	氏名	任期	重要な兼職の状況
監事	鈴木 正明	2022年6月	公認会計士・税理士 鈴木正明事務所所長
監事	田中 克郎	同上	弁護士 TMI 総合法律事務所代表パートナー

3 評議員

(2022年3月31日現在)

地位	氏名	任期	重要な兼職の状況
評議員	有澤 誠	2023年6月	慶應義塾大学 名誉教授
評議員	出澤 正徳	同上	電気通信大学 名誉教授
評議員	稲見 昌彦	同上	東京大学先端科学技術センター 教授
評議員	内田 伸子	同上	IPU・環太平洋大学教授 お茶の水女子大学名誉教授
評議員	小野 忠彦	同上	(株)マーベラス 元監査役
評議員	残間里江子	同上	(株)キャンディッドプロデュース 代表取締役社長
評議員	長谷川良平	同上	(国研)産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門上級主任研究員
評議員	中村 俊一	同上	(株)アミューズキャピタル 代表取締役社長

4 役員等の報酬等の額

地位	人数	報酬等の総額(千円)
理事	9	7,350
監事	2	330
評議員	8	150
合計	20	7,830

- (注) 1 理事の報酬総額には、使用人兼務理事の使用人分給与は含んでおりません。
2 評議員の報酬限度額は、定款第16条において、総額120万円以下と定められております。
3 理事及び監事の報酬は、定款第30条に基づき、評議員会決議による「評議員及び役員等の報酬等及び費用に関する規程」において定められております。
4 当法人は、役員との間に責任限定契約を締結しておりません。

Ⅲ 会計監査人に関する事項

当法人は、会計監査人設置法人に該当しておりません。

Ⅳ 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

当法人は、機関設計が簡素であることに鑑み、定款第 35 条第 2 項第 5 号の規定に基づく必要な体制の整備に代えて、2014 年 5 月 31 日付をもって理事会決議により前文と全 10 カ条からなる「行動規範」を制定し、全ての当法人の評議員、理事、監事、委員及び職員が遵守しなければならない意思決定と行動の基準としています。

Ⅴ その他の法人の状況に関する重要な事項

該当事項はありません。

以上